

## ＜研究開発課題＞

道徳の時間の指導内容に加えて、  
礼儀作法の実践的指導を行う**新教科**の設置

平成26～29年度研究開発学校

「道徳の教科化」 **＜徳育科＞**

最終年度

# 研究発表

東京都武蔵村山市立第八小学校

# 今後の道徳教育の方向性の提案

「何を知っているか」 「何が**できるか**」

**知識**

価値創造

**実践**



# 道徳教育で育てたい道徳性

**協働**

(人に優しく)

**自律**

(自分に厳しく)

**創造**

(主体的に働き掛ける)

国際理解教育

小中一貫教育

コミュニティ・スクール

**地域**



道徳的実践意欲と  
実生活をつなげる  
価値創造

外国語活動

各教科

特別活動

総合的な学習の時間

**家庭**



道徳科

**新教科 「徳育科」**

礼法の時間

「何を知っているか」から「何ができるか」へ

# 発表内容

1 **なぜ、「徳育科」を設置したのか**

2 **「徳育科」は何を目指すのか**

3 **「徳育科」の**実際****

①指導内容②授業づくりの3視点

4 **成果と今後の方向性**

# 1 なぜ

「徳育科」を  
設置したのか

# 第1章

## なぜ、「徳育科」を設置したのか

### 現状（社会的背景）

- 社会全体の**モラル低下**
- 家庭や地域社会の  
**教育機能の低下**
- **道徳の教科化**

# 第1章

## なぜ、「徳育科」を設置したのか

### 現状（本校の課題）

児童の実態  
挨拶や感謝の言葉  
を進んで言えない

保護者の期待  
しつけや  
マナーの指導

教師の課題意識  
集団生活における 礼節の指導

# 第1章

なぜ、「徳育科」を設置したのか

## 原因究明

頭で分かっているいても実践できない  
= 価値（よさ）を見出せていない



礼儀作法の  
実践的指導



# 第1章

## なぜ、「徳育科」を設置したのか

### 研究開発課題

道徳科

30時間

+

礼法の時間

礼儀

マナー

15時間

=

新教科

徳育科

45時間

何を知っているか<sub>から</sub>

何が<sub>へ</sub>できるか

# 第1章

## なぜ、「徳育科」を設置したのか

### 「礼法」の定義

「自分も相手も大切にしながら、  
よりよい生活、よりよい社会を  
つくっていく心掛けや心遣い」

**2** 「徳育科」は  
**何を**  
**目指すのか**

## 第2章

# 「徳育科」は何を目指すのか

### 特徴（価値）

礼儀やマナーの習得

人との関わり方

実生活との結びつき

## 第2章

# 「徳育科」は何を目指すのか

目標（実践に結びつく3つの力）

道徳的認識・理解力（分かる）

道徳的思考・判断力（考える）

道徳的実践意欲・態度（つなぐ）

## 第2章

# 「徳育科」は何を目指すのか

### 目標（育てたい児童の姿）

礼節を大切にし、

自分に厳しく、人に優しく、

主体的に集団や社会に

働き掛ける児童



## 第2章

# 「徳育科」は何を目指すのか

### 目標（目指す授業）

何を知っているから  
**何が**できるかを目指す授業



子供たちが考え、議論し、  
生き方や**実践**につなげる授業

# 3 「徳育科」の

**実際**

～実践事例を通して～



# 第3章

## 「徳育科」の**実際①**指導内容

### 4 視点7要素にキーワード化

#### 自尊自律

- ①自身を制する力
- ②自身を高める力



#### 共生協働

- ③礼儀を大切にできる心
- ④いじめを許さず他者を思いやる心

#### 社会創造

- ⑤社会の一員としての自覚
- ⑥社会に主体的に参画する姿勢



#### 生命尊重

- ⑦生命を尊重する態度

# 第3章

## 「徳育科」の**実際①**指導内容

### 礼法10項目（実践的な指導内容）

**自尊  
自律**

- ① 気持ちのよい挨拶と基本姿勢
- ② 心と身なりと物を整える態度
- ③ 先人の生き方に学ぶ姿勢



**共生  
協働**

- ④ 時と場や目的に応じた言葉遣いや態度
- ⑤ いじめを絶対に許さない態度
- ⑥ 温かい人間関係をつくる姿勢



**社会  
創造**

- ⑦ 規則の尊重と公共の場の使い方
- ⑧ 公共の場での心配り
- ⑨ よりよい家庭生活をつくる態度
- ⑩ よりよい学校生活をつくる態度



# 第3章

## 「徳育科」の**実際②**授業づくり

### 4年間の研究



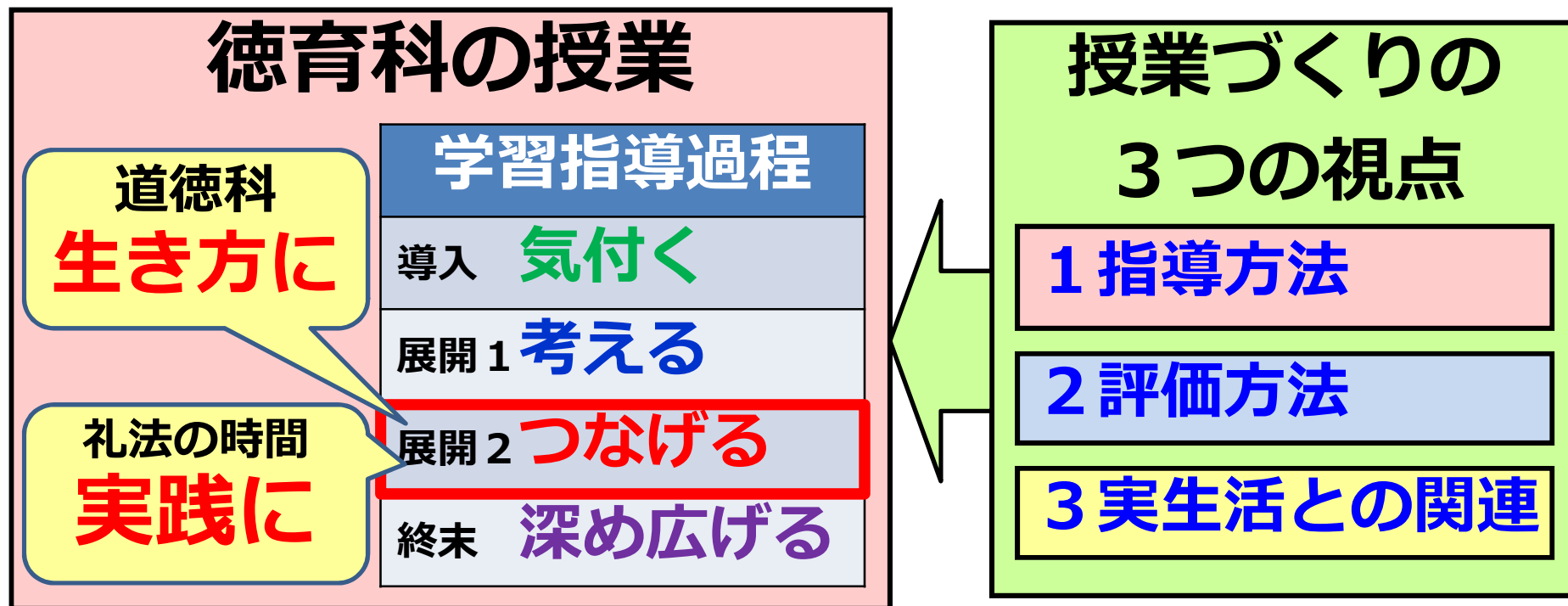
平成26～27年度の研究  
礼法の時間の指導と評価

平成28～29年度の研究  
徳育科全体の指導と評価

# 第3章

## 「徳育科」の**実際②**授業づくり

### 授業づくりの概要



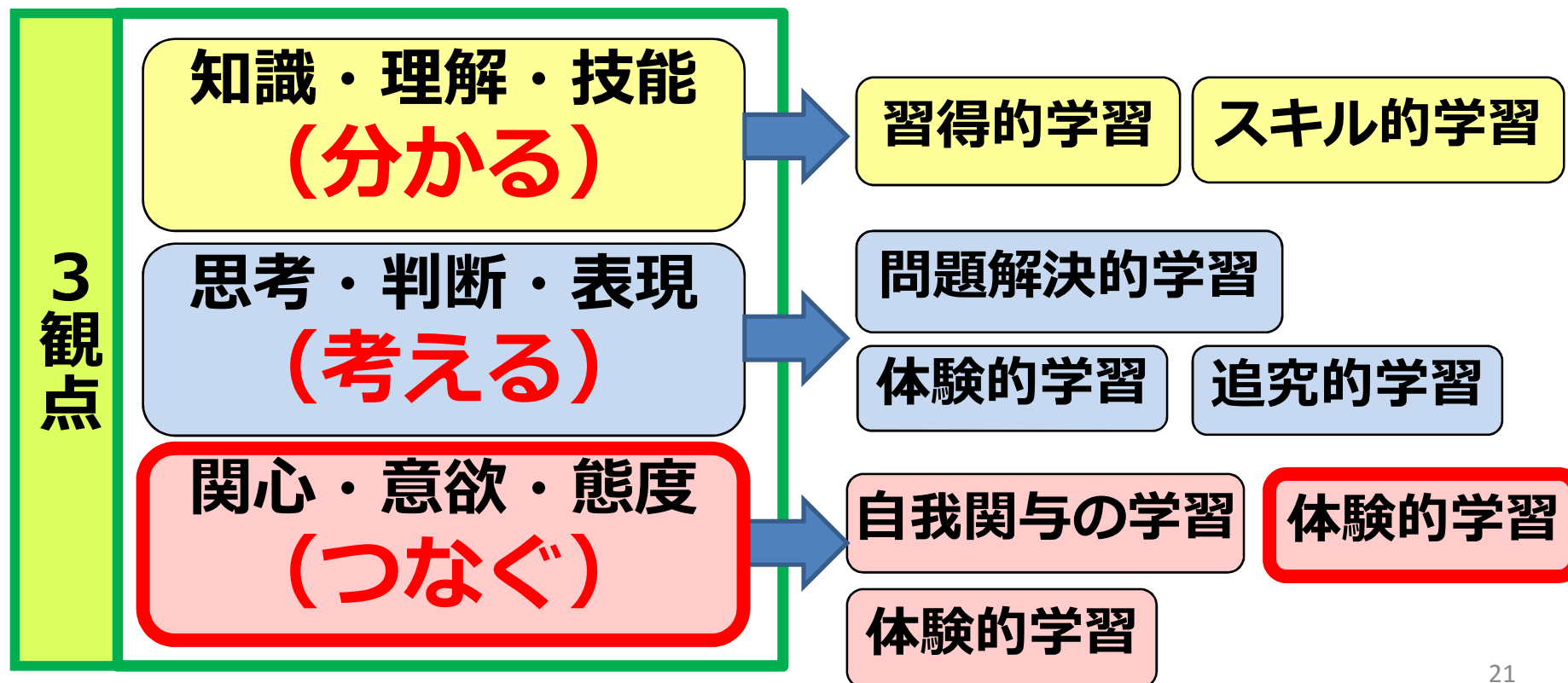
何を知っているかから**何ができるか**を目指した授業  
子供たちが考え、議論し、生き方や**実践につなげる**授業

# 第3章

## 「徳育科」の**実際②**授業づくり

### 視点①指導方法

ねらい（重点観点）に即した指導方法（例）



# 实践事例 1

## 指導方法

# 第3章

## 「徳育科」の**実際②**授業づくり

### 視点① 指導方法

重点観点：知識・理解・技能

重点観点：思考・判断・表現



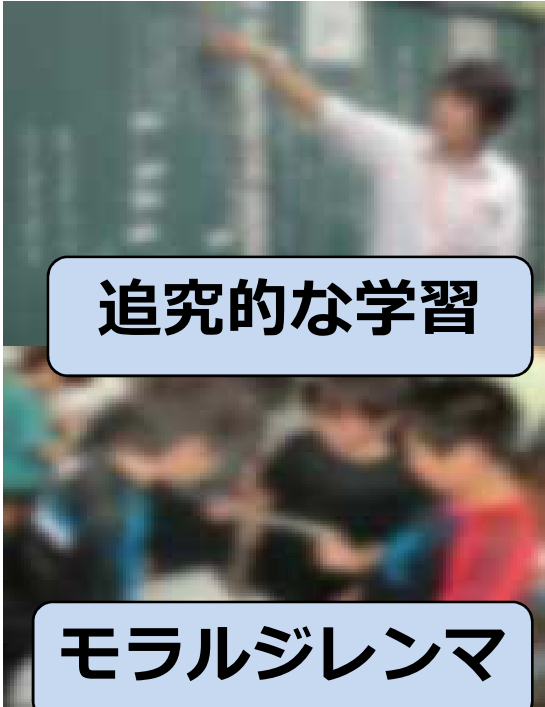
習得的な学習

モラルスキル  
トレーニング



問題解決的な学習

アサーション



追究的な学習

モラルジレンマ

### 視点② 評価方法

#### 【評価の目的】

① 児童が**自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もう**とする動機付けのため

② 児童の学習状況を把握した上で、**指導方法などを改善**していくため



### 視点②評価方法

#### 評価の1 2 視点 (変容や深まりを見取る視点)

知識・理解・技能 (分かる)	思考・判断・表現 (考える)	関心・意欲・態度 (つなぐ)
<ul style="list-style-type: none"><li>① 道徳的価値のよさや意義を理解している。</li><li>② 実現することの難しさを理解している。</li><li>③ 自分自身との関わりの中で理解している。</li><li>④ 自分自身との関わりの中で理解している。</li><li>⑤ 体験的に理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>⑥ 自分の経験や体験を振り返りながら考えている。</li><li>⑦ 様々な視点（結果や原因等）について考えている。</li><li>⑧ 別の立場で、考えている。</li><li>⑨ 自律的に考えている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>⑩ 自分自身の問題として受け止めようとしている。</li><li>⑪ 自分の特徴を知り、よりよくしようとしている。</li><li>⑫ これからの自分の生き方に生かそうとしている。</li></ul>

# 実践事例 2

## 評価方法

# 第3章

## 「徳育科」の**実際②**授業づくり

### 目標と指導と評価の一体化

#### 重点観点の設定

知識・理解・技能

思考・判断・表現

関心・意欲・態度

一  
体  
化

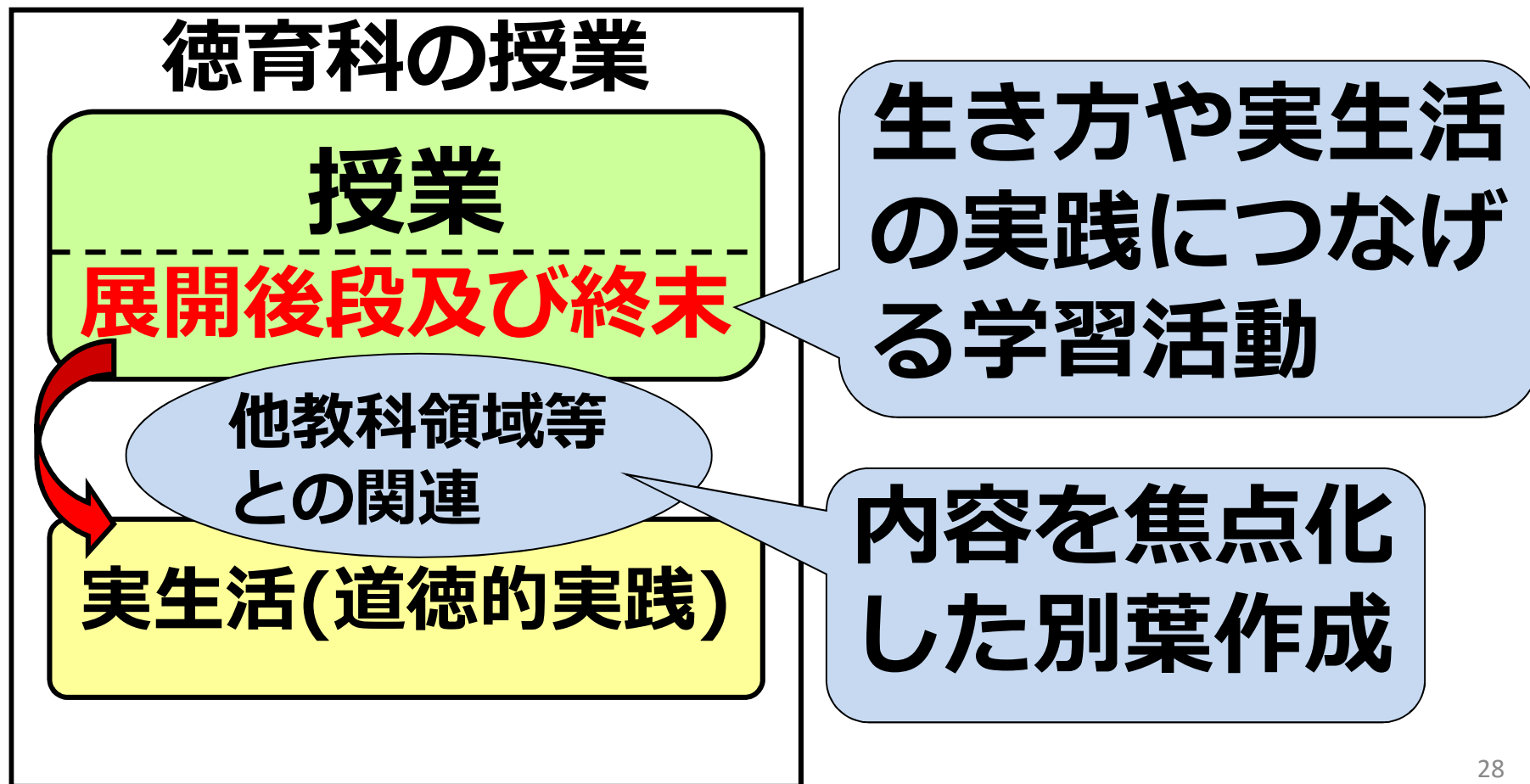
**目標**（ねらい）が明確

ねらいに即した**指導**

**評価**（変容や深まり）

授  
業  
改  
善

### 視点③ 実生活との関連



# 実践事例 3

## 実生活との関連

# 第3章

## 「徳育科」の実際②授業づくり

### 視点③ 実生活との関連

道徳教育  
全体計画

道徳教育で育てたい道徳性

協働

(人に優しく)

自律

(自分に厳しく)

創造

(主体的に働き掛ける)

国際理解教育

小中一貫教育

コミュニティ・スクール

徳育科年間  
指導計画

地域



道徳的実践意欲と  
実生活をつなげる

外国語活動

総合的な学習の時間

各教科

特別活動

家庭

年間指導  
計画別葉

道徳科

新教科「徳育科」

礼法の時間

「何を知っているか」から「何ができるか」へ

## 4 成果と

# 今後の方向性

## 第4章

# 成果と今後の方向性

### 意識調査

調査項目（対象：児童・教員・保護者・地域）




<b>自尊 自律</b>	1 挨拶	2 整理 整頓	3 自分の よさ	4 努力
<b>共生 協働</b>	5 敬語	6 礼儀	7 いじめを 許さない	8 温かい 人間関係
<b>社会 創造</b>	9 ルール	10 マナー	11 家庭 生活	12 学校 生活
<b>生命 尊重</b>	13 生命 尊重	14 自然 愛護	①よくできている②だいたいできている ③あまりできていない④できていない	



# 第4章

# 成果と今後の方向性

## 成果と課題～意識調査の結果分析～

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	教員	保護者等
1 挨拶	△				○			
2 整理整頓	△	○						
3 よさ	△			△	△	△	△	△
4 努力	△		△	△	○	△	△	△
5 敬語						△	△	
6 礼儀						○		
7 いじめ許さない	○	○	○	○	○	○	○	○
8 温かい人間関係	○	○	△					
9 ルール					○			
10 マナー								
11 家庭生活								△
12 学校生活								
13 生命尊重	○	○	○	○	○	○	○	○
14 自然愛護	○							

自律

協働

創造

## 第4章

# 成果と今後の方向性

### 成果～日常生活の様子（児童の変容）～

姿勢や整理整頓の  
意識の深化

集会での集合  
整列の上達

挨拶の充実

兄弟学級活動での  
振る舞い方

地域でお世話に  
なっている方々  
への心配り

## 第4章

# 成果と今後の方向性

### 成果～日常生活の様子（教員の変容）～

指導計画に則った  
学年チームとしての  
授業展開

礼法の時間の  
共通理解と  
指導方法の工夫

教材教具の充実

日常における  
基本的な生活習慣の  
指導に対する  
意識の深化

規則の尊重や  
人や集団への関わり方  
などの指導に対する  
意識の深化

### 今後の方向性

#### ① 指導方法に関すること

- 「徳育科」全体の指導方法の多様な方法についての研究
- 授業づくりのポイント整理

### 今後の方向性

#### ② 評価に関すること

- 評価の1 2 視点を基にした  
評価の在り方の更なる研究
- 通知表や指導要録の  
行動の記録との具体的な関連

### 今後の方向性

#### ③ 実生活との関連に関すること

- 「徳育科」の学習と  
全教育活動との関連の明確化
- 「何ができるか」を意識した  
「徳育科」の更なる研究

# 第4章

# 成果と今後の方向性

考え、議論し、生き方や実践につなげる徳育科

道徳教育で育てたい道徳性

協働

(人に優しく)

自律

(自分に厳しく)

創造

(主体的に働き掛ける)

国際理解教育

小中一貫教育

コミュニティ・スクール

地域



道徳的実践意欲と  
実生活をつなげる

外国語活動

総合的な学習の時間

各教科

特別活動

家庭



道徳科

新教科「徳育科」

礼法の時間

「何を知っているか」から「何ができるか」へ

# 平成29年度最終年度研究発表会

「何を知っているか」 「何が**できるか**」

**知識**

価値創造

**実践**

平成30年2月17日(土)



徳育科



ご清聴ありがとうございました